

# 資源循環型施設建設に関する説明会 概要

## 【下塩尻自治会】

### 1 開催概要

|      |                         |                            |
|------|-------------------------|----------------------------|
| 開催日時 | 令和5年7月13日（木）19：00～20：39 |                            |
| 開催場所 | 下塩尻公民館                  |                            |
| 出席者  | 住 民                     | 20名（下塩尻地区住民20名）            |
|      | 行 政                     | 土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員12名 |
|      | 報道関係                    | - 社                        |

### 2 主な質疑応答

| No | 項目          | 質問・意見等   | 回答   |
|----|-------------|--|--|
| 1  | 維持管理費について   | 現在の3クリーンセンターの維持管理費を教えてください。  | 修繕工事等の状況で年度によりばらつきがあるが、ここ数年では1年あたり11～12億円で推移している。                                      |
| 2  | 施設の基本概要について | 現在3つある施設を1つに集約することで、圏域のバックアップ体制がなくなる。このことについてのリスク管理をどう考えているか。      | 災害時には周辺地方公共団体との連携のほか、故障時等は民間企業への委託等により対応が必要と考えている。                                     |
| 3  |             | 資源循環型施設はプラスチック等をまとめて焼却処理するのか。                                      | 資源循環型施設ができて、従来通りのごみの分別をお願いしていく。国において、プラスチックの資源循環に係る法律が施行されるなど、循環型社会への移行が強化されている。       |
| 4  | 搬出入ルートについて  | 上田大橋北詰から堤防道路の道路整備について、国土交通省の千曲川河川事務所と協議を行っているとのことだが、進展について教えてください。 | 清浄園及び上田終末処理場の南側堤防道路の拡幅について概ね了解をいただいている。ただし、上田大橋北詰からの進入ルートについては、まだ協議中であり、まとまり次第お示ししていく。 |

| No | 項目            | 質問・意見等   | 回答   |
|----|---------------|--|--|
| 5  | 防災拠点について      | 下塩尻には水害発生時に一時避難できる施設がない。資源循環型施設における防災拠点としての役割を教えてください。 | 建設候補地周辺一帯が浸水想定区域であるため、水害発生時には、まずは区域外への避難を優先にしていきたい。<br>ただし、地震時には一時的な避難場所としての活用を考えている。<br>その他、災害廃棄物の処理、風呂・シャワーの提供、携帯電話などへの充電など、災害復興及び市民生活の支援としての役割を考えている。 |
| 6  | 余熱利用について      | 余熱で発電する仕組みを教えてください。                                    | 火力発電のように、ごみの焼却で生じた熱を蒸気に換えて、蒸気でタービン発電機を駆動して発電する。  |
| 7  |               | 資源循環型施設の中に発電設備を造るとのことか。                                | 発電に必要な電気、機械設備を設置する。  |
| 8  |               | 発電設備から騒音や振動が発生すると思うが、対応策を教えてください。                      | 発電設備から発生する騒音や振動も含めて、現在進めている環境影響評価において予測評価し、対応策を検討する。施設基本計画では、基礎を独立させることや、機器を屋内に設置することを対策として示している。  |
| 9  | 環境教育について      | 資源循環について子どもたちが学べる施設としてほしい。                             | 熱利用のほか、焼却灰も含めて広く循環利用について学べる施設としていきたい。  |
| 10 | 施設配置計画(案)について | フリースペースは、太陽光発電など施設のランニングコストを下げる目的で活用したらどうか。            | 住民の皆様が資源循環型施設を身近に感じ、親しんでいただくことで、施設の監視も担っていただくよう、周辺整備予定地と併せて一体的に利用できる整備を考えている。  |

| No | 項目            | 質問・意見等                                      | 回答   |
|----|---------------|---|--|
| 11 | スケジュール(案)について | 事業に反対している自治会もあるようだが、予定よりスケジュールが延びる可能性はあるのか。 | <p>令和6年度当初予定の環境影響評価準備書の手続き目途に、周辺整備事業、地域の住民生活の課題解決といった地域のまちづくりも話し合いを進めたい。</p> <p>スケジュールについては、働き方改革や全国的な施設更新の集中、半導体不足等による影響要因がある。</p> <p>現施設の老朽化も進んでいるため、御理解をいただき、可能な限り早く建設できるよう取り組んでいく。</p> <p>諏訪部地域でも説明会は開催している。また、自治会への働きかけは続けている。(土屋広域連合長)</p> |
| 12 | 周辺整備事業について    | ウォーキングや子どもたちの遊べる緑地公園を整備してほしい。               | 同様のご意見を多数いただいている。資源循環型施設を契機としたまちづくりに向け、より良い施設となるよう住民の皆様のご意見をお聴きしていく。   |
| 13 |               | 公園緑地は、整備後の維持管理も考慮して計画してほしい。                 | 施設の民間活力の導入も検討したい。整備後の維持管理や継続して利用いただける施設整備を大切にしていきたい。   |
| 14 |               | 余熱利用施設に高さを持たせて、水害発生時に避難所としても利用できる施設としてほしい。  | <p>建設候補地周辺一帯が浸水想定区域であるため、水害発生時には区域外への避難を優先にしていきたい。</p> <p>地震等では一時的な避難所、風呂やシャワーなど福祉的な支援ができる機能を検討していく。</p>   |

| No | 項目         | 質問・意見等   | 回答   |
|----|------------|--|--|
| 15 | 周辺整備事業について | 現在のアクアプラザ上田の機能をそのまま移転するのではなく、現状にあった施設としてほしい。プールより、温浴施設の需要があると思う。 | 現状の機能を漫然と移転することは適切ではないと考えている。<br>頂いたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。  |
| 16 |            | 現在のアクアプラザ上田は廃止するということか。  | 現施設は老朽化が進んでいるため廃止する。跡地の利用については今後検討していく。  |
| 17 |            | 余熱利用施設や公園緑地の利用が想定される団体や人の意見を、設計段階から取り入れてもらいたい。                   | まず、これまでの長年の話し合いを続けてきた地元の皆様のご意見をお聴きすることからスタートしてまいりたい。   |
| 18 |            | 自治会内の幹線道路が一部歩道整備されていない。安全に通行できるよう、歩道整備をお願いしたい。                   | 地域の課題解決に向け、頂いた要望を整理し、一つ一つ対応を話し合いながら決めていきたい。  |
| 19 |            | 計画地は民地であるが、用地の取得または借り上げの実現の可能性はどうか。                              | 平成 24 年に資源循環型施設の建設候補地の提案をした際、併せて地域振興として使わせていただきたいとお願いしてきた場所である。地権者の意向もあり、現段階では実現の可能性については申し上げられない。<br>資源循環型施設の建設が決まった段階で、地権者の皆様に正式にお願いしてまいりたい。 |